

セチリジン塩酸塩錠5mg「CH」の
生物学的同等性試験に関する資料

長生堂製薬株式会社

セチリジン塩酸塩製剤『セチリジン塩酸塩錠5mg「CH」』（長生堂製薬株式会社 製造販売）と標準製剤『ジルテック錠5』との生物学的同等性について検討を行ったところ、以下のような結果を得た。

1. 方法

被験者：20歳から28歳までの健康成人男子 10 例

割付け：1 群 5 例の 2 群

投与量：試験製剤又は標準製剤それぞれ 2 錠（セチリジン塩酸塩として10mg）

試験方法：2 剤 2 期のクロスオーバー法

空腹時に治験薬を水約150mLとともに単回経口投与し、経時的に採血を行った。

2. 結果

試験製剤投与群及び標準製剤投与群の薬物動態パラメータの平均値を表1及び2に示す。また、血漿中セチリジン濃度の経時的推移を図1に示す。

3. 結論

本試験では、試験製剤及び標準製剤を交叉して投与し、血漿中セチリジン濃度の経時的推移を測定した。得られた血漿中濃度を基に Cmax 及び AUC を求め、両パラメータにつき、比較検討したところ、「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」に規定された同等性の判定基準を満たしていた。

よって、『セチリジン塩酸塩錠5mg「CH」』と標準製剤『ジルテック錠5』とは生物学的に同等であると考えられ、両製剤投与後の治療効果も同等であることが推察された。

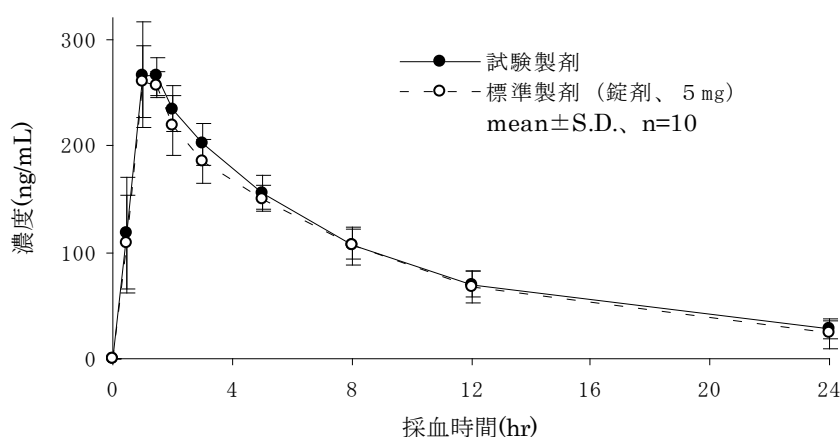
表1. 試験製剤の血漿中セチリジン薬物動態パラメータ

	AUC ₀₋₂₄ (ng·hr/mL)	Cmax (ng/mL)	Tmax (hr)	t _{1/2} (hr)
平均値	2289.2	284.2	1.3	8.1
標準偏差	259.8	26.4	0.3	1.2

表2. 標準製剤の血漿中セチリジン薬物動態パラメータ

	AUC ₀₋₂₄ (ng·hr/mL)	Cmax (ng/mL)	Tmax (hr)	t _{1/2} (hr)
平均値	2183.0	273.6	1.3	7.6
標準偏差	331.6	23.8	0.3	1.8

図1. 血漿中セチリジン濃度の経時的推移



血漿中濃度並びにAUC、Cmax等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。